eastspring investments

交付運用報告書

イーストスプリング・グローイング・アジア株式オープン

追加型投信／海外／株式

作成対象期間　2022年6月21日～2022年12月20日

第31期 2022年12月20日決算

日経新聞掲載名：グロアジ

第31期末	基準価額	11,558円
	純資産総額	3,419百万円
第31期	騰落率	－1.9%
	分配金合計	0円

(注)騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、主として日本を除くアジア地域において相対的に高い経済成長が見込まれる国の株式を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。当作成対象期間につきましてもこれに沿った運用を行ってまいりました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜わりますよう、お願い申し上げます。

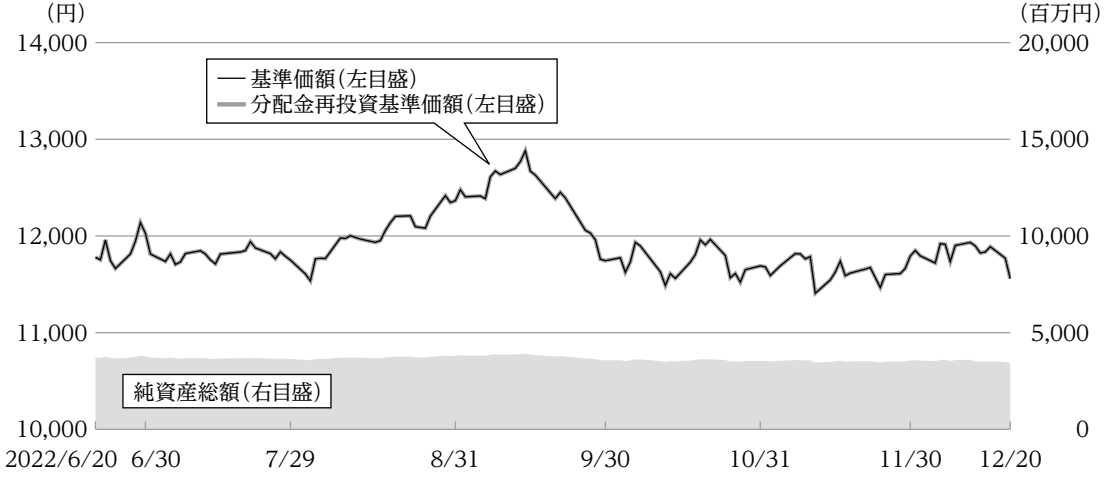
イーストスプリング・インベストメンツ株式会社
〒100-6905
東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング
https://www.eastspring.co.jp/
〔お問い合わせ先〕
電話番号：03-5224-3400
(受付時間は営業日の午前９時から午後５時まで)

当ファンドは、信託約款において運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書（全体版）は、下記の手順で閲覧、ダウンロードすることができます。なお、書面をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

＜運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法＞
ホームページにアクセス ⇒「ファンド情報」を選択 ⇒ ファンド名を選択 ⇒「目論見書・月報・運用報告書等」の「運用報告書（全体版）」を選択

運用経過

基準価額等の推移について　（2022年６月21日～2022年12月20日）



第 31 期 首	11,779円
第 31 期 末	11,558円（既払分配金0円）
騰　落　率	－1.9%（分配金再投資ベース）

（注１）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注２）分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様１人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

（注３）分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は下落しました。

下落要因	・投資対象ファンドを通じて保有する株式が下落したこと。 ・アジア通貨が対円で下落したこと。

１万口当たりの費用明細　（2022年６月21日～2022年12月20日）

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a)信託報酬	87円	0.734%	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、11,895円です。
（投信会社）	(39)	(0.331)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(46)	(0.386)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.017)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b)その他費用	6	0.049	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.012)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(2)	(0.018)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷）	(2)	(0.019)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
（その他１）	(0)	(0.000)	信託管理事務に係る手数料
合計	93	0.783	

（注１）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

（注２）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

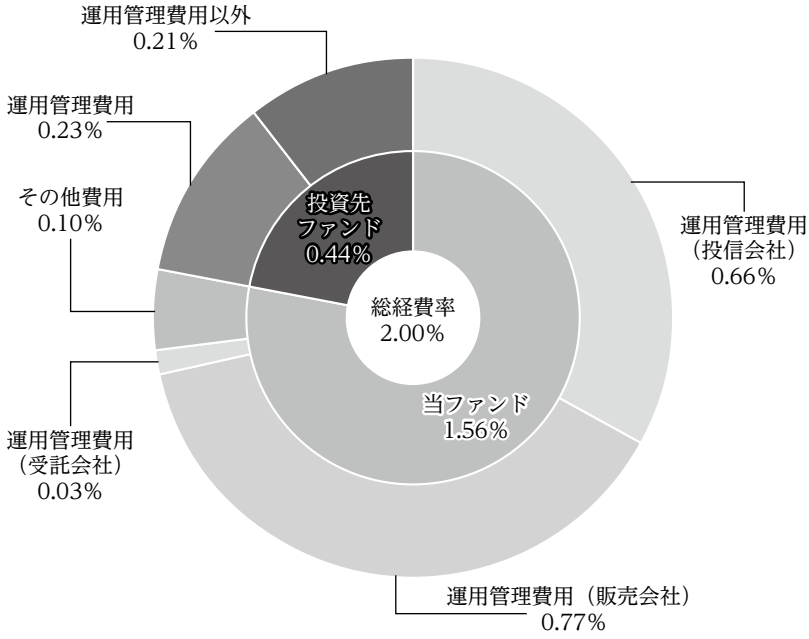
（注３）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

（注４）各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「１万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

（参考情報）

■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.00％です。



総経費率（①＋②＋③）	2.00％
①当ファンドの費用の比率	1.56％
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.23％
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.21％

（注）①の費用は１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注）各比率は、年率換算した値です。
（注）投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
（注）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近５年間の基準価額等の推移について　(2017年12月20日～2022年12月20日)

(注１)分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注２)分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様１人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注３)分配金再投資基準価額は、2017年12月20日の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

決算日		2017/12/20	2018/12/20	2019/12/20	2020/12/21	2021/12/20	2022/12/20
基準価額	(円)	10,899	9,841	10,139	10,271	10,974	11,558
期間分配金合計（税引前）	(円)	—	0	0	100	200	0
分配金再投資基準価額の騰落率(%)		—	−9.7	3.0	2.3	8.8	5.3
純資産総額	(百万円)	5,820	5,042	4,681	4,130	3,629	3,419

＊当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

投資環境について

アジア株式市場

当期のアジア株式市場は下落しました。期初から2022年８月末にかけて、中国ではゼロコロナ政策が継続する中、大手インターネット関連株が米国で上場廃止になるのではないかと懸念が高まり、株式市場は軟調に推移しました。一方、インドでは堅調な企業業績に加えて、原油などコモディティ価格の調整を受けて今後のインフレ率のピークアウトが期待され堅調な展開となりました。10月末にかけては、中国では５年に一度開催される共産党大会で習近平総書記の３期目入りが決まり、ゼロコロナ政策や台湾への強硬姿勢の継続などが見込まれることなどが嫌気され株式市場は大幅に下落しました。11月以降期末にかけては、中国ではゼロコロナ政策への抗議デモをきっかけにした当局による段階的な規制緩和などを好感し、株式市場は大幅に上昇しました。また、インドでは７－９月期の企業収益が改善したことや、10月の消費者物価指数（CPI）上昇率が前月から鈍化したことなどを受けて利上げ幅の縮小が期待され、株式市場は堅調に推移しました。

為替市場

期初から2022年10月末にかけては、米国でインフレが高進を続ける中、米連邦準備制度理事会（FRB）が利上げを継続したことによる日米金利差の拡大を受け、米ドルは円に対して上昇が進みました。しかし、11月以降は米国でインフレの上昇がやや落ち着きを示したことに加え、期末に日銀が金融政策の見直しを行ったことから、円は主要通貨に対して大幅に上昇しました。その結果、アジア通貨は対米ドル、対円ともに下落しました。

ポートフォリオについて

当ファンド

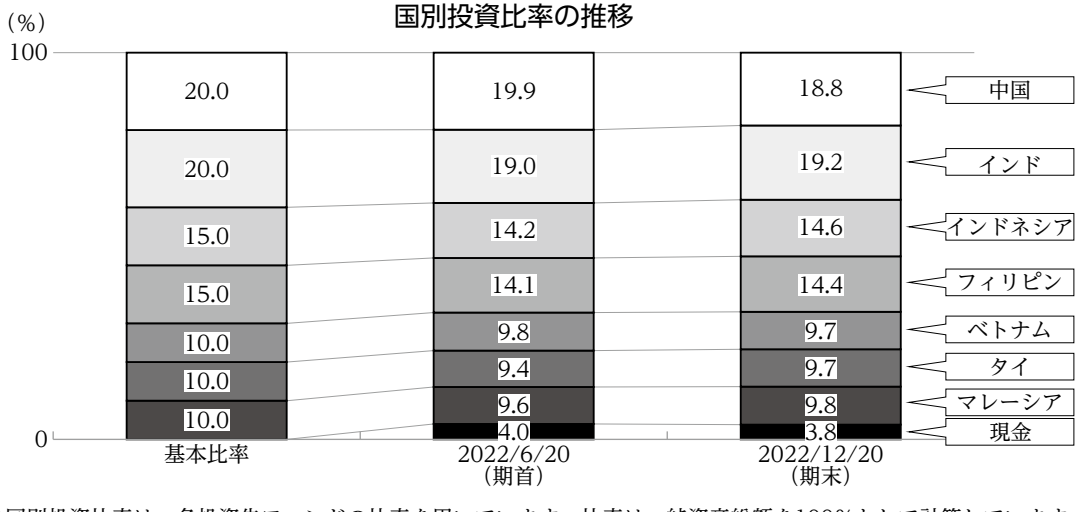
主として日本を除くアジア地域において相対的に高い経済成長が見込まれる国の株式を主要投資対象とするルクセンブルグ籍外国投資法人「イーストスプリング・インベストメンツ」のサブファンド（米ドル建て）（以下「投資先ファンド」ということがあります。）の投資信託証券に投資を行いました。国別の投資割合については基本比率の上下一定の範囲内で運用を行いました。

投資先ファンド

高い経済成長が続くアジア地域で、今後も特に高い成長が期待できると考えられる国々（中国、インド、インドネシア、フィリピン、マレーシア、タイ、ベトナム）の株式に投資を行いました。

当期は、コロナ禍からの経済活動再開が進み、個人消費の回復などによる堅調な企業業績を背景に株価が上昇したインドなどの保有がプラス要因となりました。一方、ゼロコロナ政策や習近平総書記の３期目入りを受け、台湾問題への懸念が高まったことなどから株価が下落した中国などの保有はマイナス要因となりました。

国別投資比率の推移



(注)国別投資比率は、各投資先ファンドの比率を用いています。比率は、純資産総額を100%として計算しています。

ベンチマークとの差異について

当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきました。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳（1万口当たり、税引前）

項目		第31期 2022年6月21日 ～2022年12月20日
当期分配金	(円)	－
（対基準価額比率）	(%)	－
当期の収益	(円)	－
当期の収益以外	(円)	－
翌期繰越分配対象額	(円)	2,460

（注1）「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注3）－印は該当がないことを示しています。

今後の運用方針について

当ファンド

主として日本を除くアジア地域において相対的に高い経済成長が見込まれる国の株式を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。当ファンドは国別の投資比率を概ね基本比率と同水準に維持し、各国の個別要因によって極端に割安・割高になったと判断する局面においては機動的に投資比率の変更を行っていく方針です。

投資先ファンド

中国ではゼロコロナ政策から徐々に行動規制を緩和する方向へ舵を切り始めていますが、今後の動向には注意が必要です。一方、他のアジア各国については、コロナ禍からほぼ脱却し、経済活動が再開していますが、米国の積極的な利上げによるアジア通貨安やインフレ高進によるアジア各国の金融引き締め政策の動向に注意が必要です。

アジア地域に関しては、各国で進められる構造改革などを背景に中長期的に高い経済成長を維持できるという見方は変わりありません。また、株価収益率（PER）などのバリュエーションの観点からみて、米国や欧州などの主要市場と比べて割安な水準にあると判断されることはアジア株式市場の下支えとなると見られます。株式市場がマクロ経済や政治イベントなどの短期的なニュースに過剰に反応するような局面でも、長期的な視野をもってファンダメンタルズとバリュエーションを大局的に見極めるという姿勢が重要であると考えています。

引き続きバリュエーションを重視したボトムアップアプローチの投資方針を維持し、長期的に持続可能な収益性と比較して、割安と判断できる企業を選別して投資を継続していく所存です。

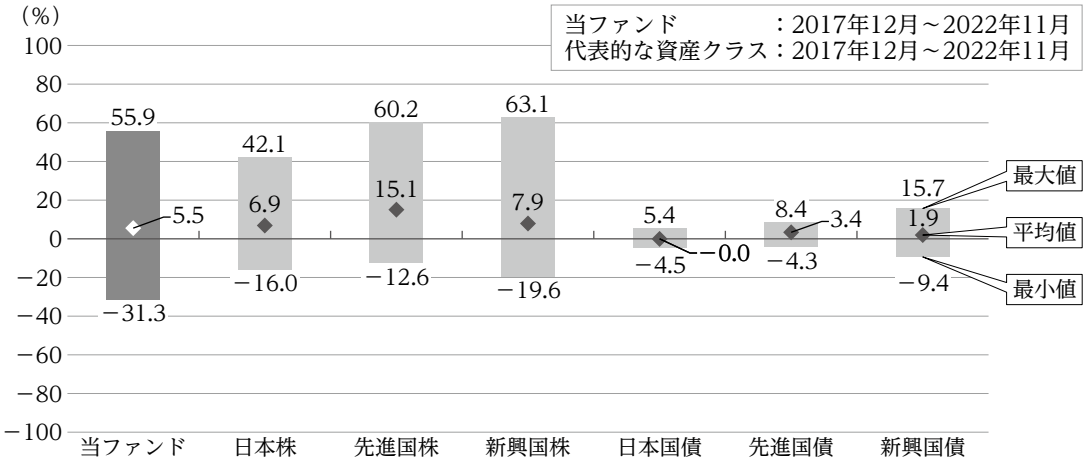
お知らせ

当ファンドの投資対象であるルクセンブルグ籍外国投資信託証券における管理費用等が、2022年７月１日付で引き下げられました。これにより、実質的にご負担いただく運用管理費用（信託報酬等）は年率1.97925％程度（税込）から年率1.87775％程度（税込）に変更されております。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限（2007年６月29日設定）
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主として日本を除くアジア地域において相対的に高い経済成長が見込まれる国の株式に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	主としてルクセンブルグ籍外国投資法人「イーストスプリング・インベストメンツ」のサブファンド（米ドル建て）への投資を通じて、主要投資対象国の株式に投資を行います。ただし、一部の投資対象国については、市場の流動性等により、ETF（上場投資信託）への投資を通じて株式に投資を行うことがあります。 イーストスプリング・インベストメンツ - チャイナ・エクイティ・ファンド クラス Ｊ イーストスプリング・インベストメンツ - インディア・エクイティ・ファンド クラス Ｊ イーストスプリング・インベストメンツ - マレーシア・エクイティ・ファンド クラス Ｊ イーストスプリング・インベストメンツ - タイランド・エクイティ・ファンド クラス Ｊ イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンド クラス Ｊ イーストスプリング・インベストメンツ - フィリピン・エクイティ・ファンド クラス Ｊ イーストスプリング・インベストメンツ - ベトナム・エクイティ・ファンド クラス Ｊ ｉシェアーズ　ＭＳＣＩマレーシアＥＴＦ ヴァンエック・ベクトル・ベトナムＥＴＦ 投資信託証券は、今後変更される場合があります。 実際の投資にあたっては、すべての投資信託証券に投資するとは限りません。
運用方法	以下の投資制限のもと運用を行います。 ・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ・株式への直接投資は行いません。
分配方針	毎決算時（毎年６月20日および12月20日。休業日の場合は翌営業日。）に、基準価額水準・市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないこともあります。

（参考情報）代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※当ファンドと代表的な資産クラスについて、上記期間の各月末における直近１年間の騰落率の平均・最大・最小を表示し、定量的に比較できるように作成したものです。当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。
※すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
※当ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

各資産クラスの指数

日 本 株	東証株価指数（ＴＯＰＩＸ） (配当込み)	株式会社ＪＰＸ総研又は株式会社ＪＰＸ総研の関連会社（以下「ＪＰＸ」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などＴＯＰＩＸに関するすべての権利・ノウハウ及びＴＯＰＩＸに係る標章又は商標に関するすべての権利はＪＰＸが有します。ＪＰＸは、ＴＯＰＩＸの指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。
先進国株	ＭＳＣＩコクサイ・インデックス (配当込み、円換算ベース)	MSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
新興国株	ＭＳＣＩエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)	
日本国債	ＮＯＭＵＲＡ-ＢＰＩ国債	野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。
先進国債	ＪＰモルガンＧＢＩグローバル（除く日本、ヘッジなし・円ベース）	J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表しているインデックスであり、著作権、知的財産権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。
新興国債	ＪＰモルガンＧＢＩ-ＥＭグローバル・ダイバーシファイド (円ベース)	

(注)海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しています。「円換算ベース」は、米ドルベースの指数を当社が円換算したものです。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

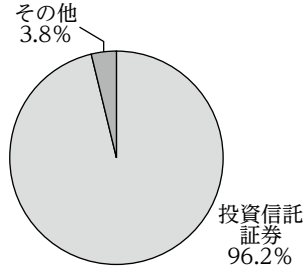
組入ファンド

（組入銘柄数：7銘柄）

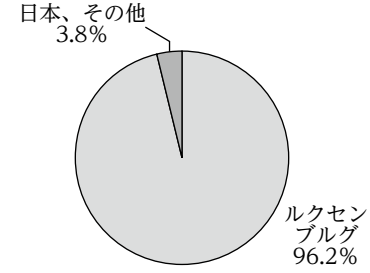
ファンド名	第31期末 2022年12月20日
イーストスプリング・インベストメンツ - インディア・エクイティ・ファンド クラス J	19.2%
イーストスプリング・インベストメンツ - チャイナ・エクイティ・ファンド クラス J	18.8%
イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンド クラス J	14.6%
イーストスプリング・インベストメンツ - フィリピン・エクイティ・ファンド クラス J	14.4%
イーストスプリング・インベストメンツ - マレーシア・エクイティ・ファンド クラス J	9.8%
イーストスプリング・インベストメンツ - ベトナム・エクイティ・ファンド クラス J	9.7%
イーストスプリング・インベストメンツ - タイランド・エクイティ・ファンド クラス J	9.7%

（注１）比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。
（注２）上位３ファンドについては、「組入上位ファンドの概要」を後掲しています。

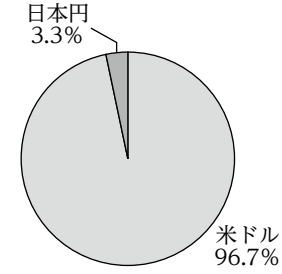
資産別配分



国別配分



通貨別配分



（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

純資産等

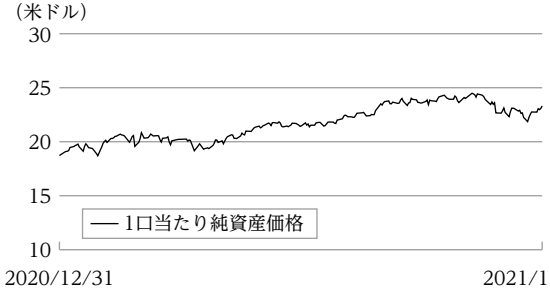
項目		第31期末 2022年12月20日
純資産総額	（円）	3,419,575,244
受益権総口数	（口）	2,958,717,816
１万口当たり基準価額	（円）	11,558

＊当期中において追加設定元本額は41,743,513円、一部解約元本額は228,450,281円です。

組入上位ファンドの概要

<イーストスプリング・インベストメンツ - インディア・エクイティ・ファンド クラスJ>

基準価額(1口当たり純資産価格)の推移



1万口当たりの費用明細

(2021年1月1日～2021年12月31日)

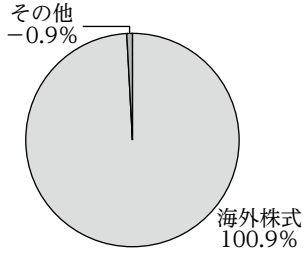
当該期間のAnnual Report(監査済み)には、1万口当たりの費用明細が開示されていないため、記載できません。

以下は、イーストスプリング・インベストメンツ – インディア・エクイティ・ファンドの内容です。

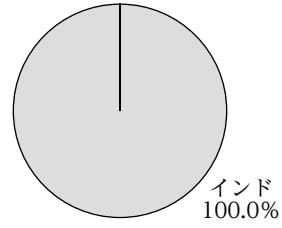
組入上位10銘柄(組入銘柄数：51銘柄) (2021年12月31日現在)

銘柄名	業種	国・地域	比率
Reliance Industries Ltd	エネルギー	インド	9.8%
Infosys Ltd	ソフトウェア・サービス	インド	8.8%
ICICI Bank Ltd	銀行	インド	7.7%
Housing Development Finance Corp Ltd	銀行	インド	6.8%
Tata Consultancy Services Ltd	ソフトウェア・サービス	インド	3.8%
Axis Bank Ltd	銀行	インド	3.7%
Sun Pharmaceutical Industries Ltd	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	インド	3.2%
Larsen & Toubro Ltd	資本財	インド	3.0%
State Bank of India	銀行	インド	3.0%
Bharti Airtel Ltd	電気通信サービス	インド	2.9%

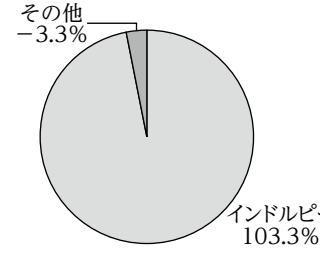
資産別配分



国別配分



通貨別配分



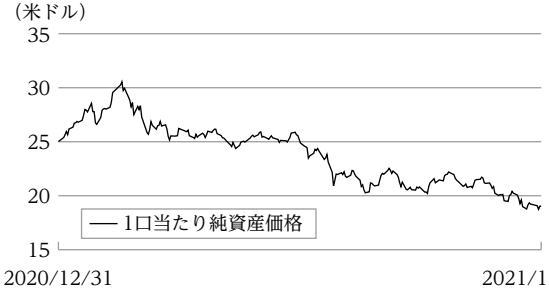
(注1)組入ファンドのデータは、当社で入手可能な時点のもの(監査済みおよび同時点の関連データを含む)を使用しています。
(注2)組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。
(注3)資産別配分において、未払金等の発生により「その他」の数値がマイナスになることがあります。
(注4)通貨別配分において、基準日をまたぐ為替取引等の計上により「その他」の数値がマイナスになることがあります。

＊組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

組入上位ファンドの概要

<イーストスプリング・インベストメンツ - チャイナ・エクイティ・ファンド クラスJ>

基準価額(1口当たり純資産価格)の推移



1万口当たりの費用明細

(2021年1月1日～2021年12月31日)

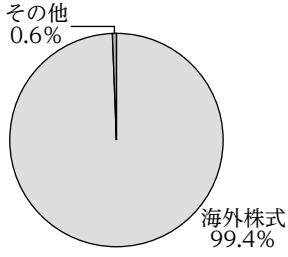
当該期間のAnnual Report(監査済み)には、1万口当たりの費用明細が開示されていないため、記載できません。

以下は、イーストスプリング・インベストメンツ – チャイナ・エクイティ・ファンドの内容です。

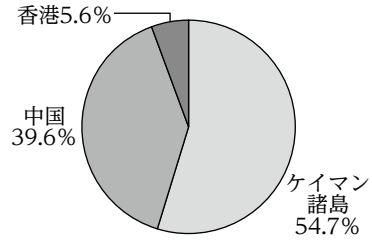
組入上位10銘柄(組入銘柄数：46銘柄) (2021年12月31日現在)

銘柄名	業種	国・地域	比率
Tencent Holdings Ltd	メディア・娯楽	ケイマン諸島	7.7%
Alibaba Group Holding Ltd	小売	ケイマン諸島	7.5%
Meituan '144A'	小売	ケイマン諸島	7.0%
NIO Inc ADR	自動車・自動車部品	ケイマン諸島	4.2%
Haier Smart Home Co Ltd 'H'	耐久消費財・アパレル	中国	3.8%
Ping An Insurance Group Co of China Ltd 'H'	保険	中国	3.7%
SF Holding Co Ltd 'A'	運輸	中国	3.7%
Inner Mongolia Yili Industrial Group Co Ltd 'A'	食品・飲料・タバコ	中国	3.6%
Thunder Software Technology Co Ltd 'A'	ソフトウェア・サービス	中国	3.4%
Geely Automobile Holdings Ltd	自動車・自動車部品	ケイマン諸島	3.2%

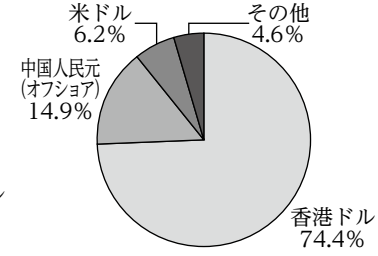
資産別配分



国別配分



通貨別配分



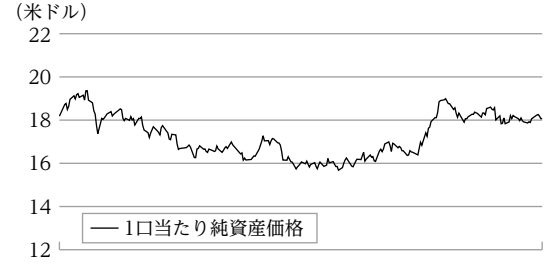
(注1)組入ファンドのデータは、当社で入手可能な時点のもの(監査済みおよび同時点の関連データを含む)を使用しています。
(注2)組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。
(注3)組入上位10銘柄、国別配分の国・地域は発行者の登録国・地域に基づいており、当該株式が上場されている、あるいは発行者が業務の本拠を置く国・地域とは異なる場合があります。

＊組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

組入上位ファンドの概要

＜イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンド クラスJ＞

基準価額（1口当たり純資産価格）の推移



1万口当たりの費用明細

（2021年1月1日～2021年12月31日）

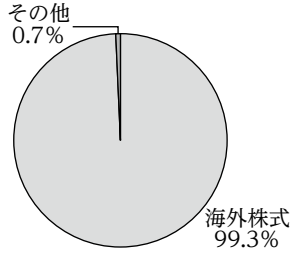
当該期間のAnnual Report（監査済み）には、1万口当たりの費用明細が開示されていないため、記載できません。

以下は、イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンドの内容です。

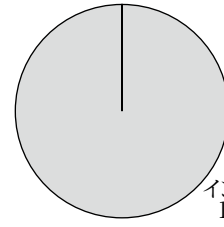
組入上位10銘柄（組入銘柄数：27銘柄）　（2021年12月31日現在）

銘柄名	業種	国・地域	比率
Telkom Indonesia Persero Tbk PT	電気通信サービス	インドネシア	9.6%
Bank Rakyat Indonesia Persero Tbk PT	銀行	インドネシア	8.9%
Bank Central Asia Tbk PT	銀行	インドネシア	8.2%
Astra International Tbk PT	自動車・自動車部品	インドネシア	6.4%
Bank Negara Indonesia Persero Tbk PT	銀行	インドネシア	5.8%
Merdeka Copper Gold Tbk PT	素材	インドネシア	4.9%
Adaro Energy Tbk PT	エネルギー	インドネシア	4.8%
Bank Mandiri Persero Tbk PT	銀行	インドネシア	4.7%
Sarana Menara Nusantara Tbk PT	電気通信サービス	インドネシア	4.7%
Indofood Sukses Makmur Tbk PT	食品・飲料・タバコ	インドネシア	4.6%

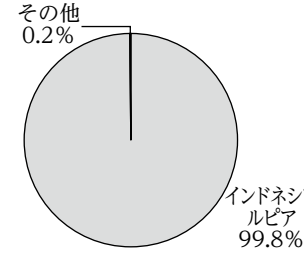
資産別配分



国別配分



通貨別配分



（注1）組入ファンドのデータは、当社で入手可能な時点のもの（監査済みおよび同時点の関連データを含む）を使用しています。

（注2）組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

＊組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。